

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)堺市長尾 特養 新築工事計	階数	地上4F
建設地	大阪府堺市北区中長尾町1丁45-1	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	109 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2019年10月2日
敷地面積	2,806 m ²	作成者	大谷茉穂
建築面積	1,821 m ²	確認日	2019年10月4日
延床面積	5,453 m ²	確認者	大谷茉穂



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<p>注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 道路に面した部分に緑地を配置することで、周辺環境を向上し街並みに溶け込むつくりとした。</p>		<p>注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。</p>
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 開口部を大きく設け、採光、通風性の良い健康的な室内環境を実現できるよう配慮した。</p>	<p>注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 天井高を高め設定することで、快適性を高めることに努めた。</p>	<p>注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内空地部分に多くの緑地を設けることで、温暖化対策に配慮した。</p>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 LED照明器具を採用することで、一次エネルギー消費量の低減に努めた。</p>	<p>注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 省水型機器の採用により、水資源の節約に努めた。</p>	<p>注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 接道部に緑地を配置することで、周辺環境・街並みに配慮した。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)堺市長尾 特養 新築工事計画	BEE	BEEランク
	建設地	堺市北区中長尾町1丁45-1	0.9	B-
	主用途/延床面積	病院 / 5,453.27 m ²		

2. 重点項目への取組み

重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	● ● ● ● ●
みどり・ヒートアイランド対策	3	● ● ● ● ●
エネルギー削減	2	● ● ● ● ●
建物の断熱性	5	● ● ● ● ●
安全快適な暮らし	3	● ● ● ● ●
自然エネルギー利用	—	

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	-	風力	-	地熱	-		
	太陽熱利用	-	水力	-	バイオマス	-		

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア

CO ₂ 削減	評価項目	スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.2	3
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目	スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価値	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価値	3.0	
エネルギー削減	評価項目	スコア	評価点
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	2.3	2
建物の断熱性	評価項目	スコア	評価点
建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	5.0	5
安全快適な暮らし	評価項目	スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1. 1. 3」のスコアによる評価値	3.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2. 1」のスコアによる評価値	3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3. 1」のスコアによる評価値	3.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2. 3. 3」のスコアによる評価値	3.0	
自然エネルギー利用	評価項目	スコア	評価点
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0	—

4. その他

技術の名称	考慮事項
特になし。	
特に配慮した事項	
特になし。	